

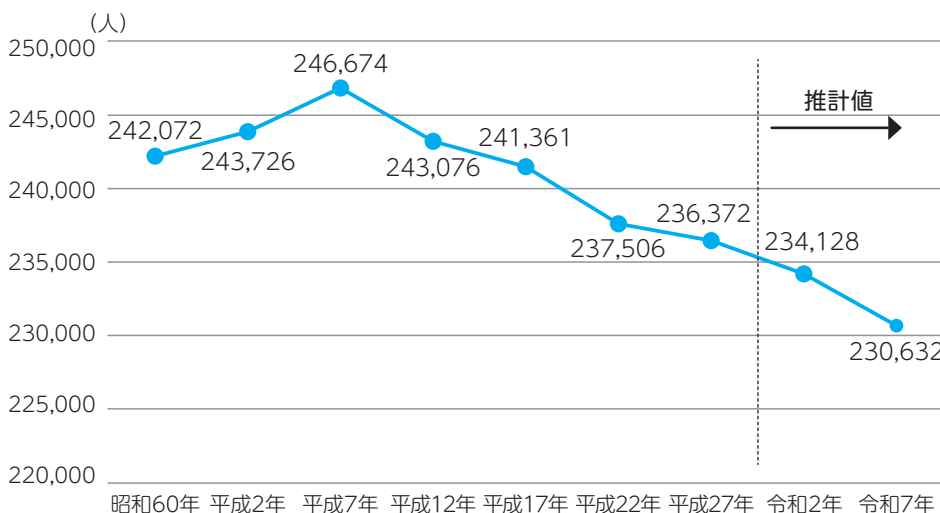
第2章 佐賀市の現状

1 人口構成の推移

国勢調査によると、平成27年の本市の人口は236,372人となっており、本市の推計値によれば、人口は徐々に減少していくことが見込まれています。

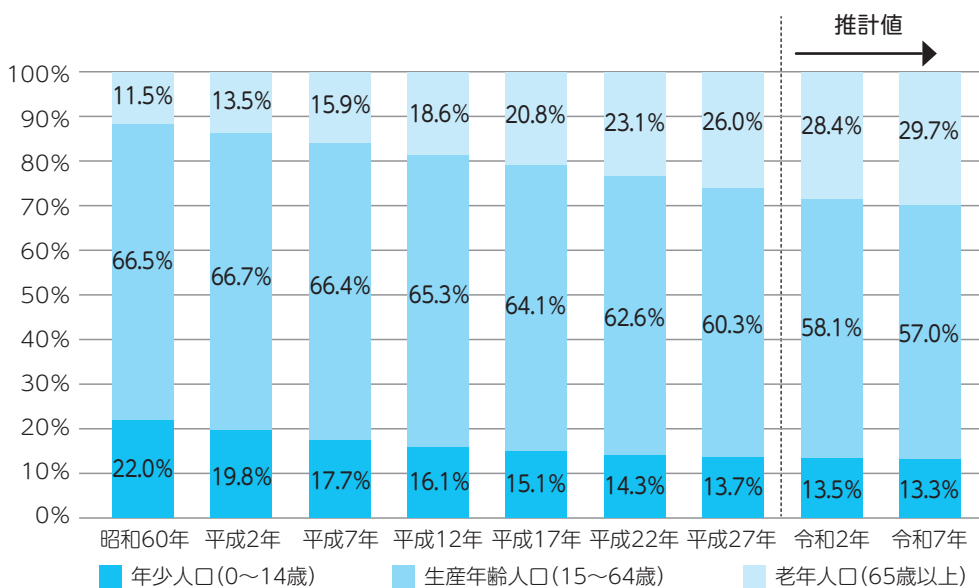
さらに、年少人口や生産年齢人口が減少する一方、老年人口が増加し、令和7年（2025年）には高齢化率が29.7%となり、概ね3人に1人が高齢者となることが予測されています。

■佐賀市の人口の推計



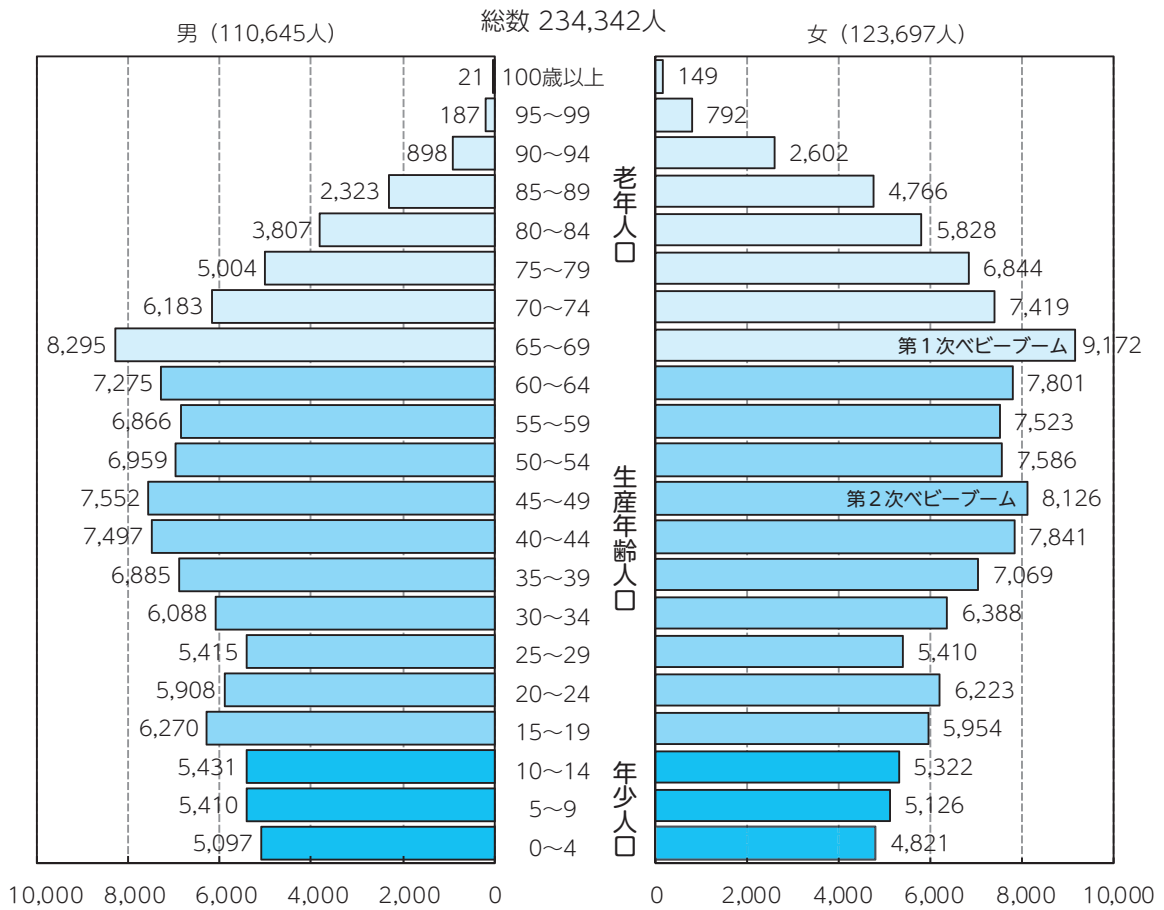
資料：昭和60年～平成27年は国勢調査
令和2年、令和7年は佐賀市総合計画より抜粋

■佐賀市の年齢階層別人口割合の推移



資料：昭和60年～平成27年は国勢調査
令和2年、令和7年は佐賀市総合計画より抜粋

■人口ピラミッド（平成30年10月1日現在）

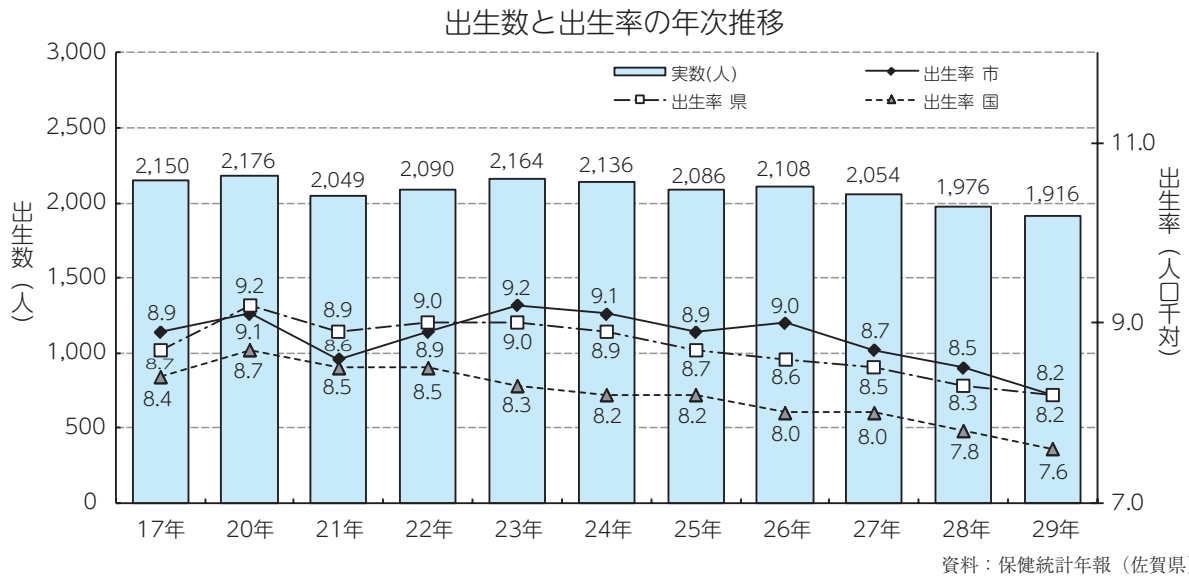


2 出生と死亡の状況

■出生数と出生率の年次推移

出生率は、平成17年以降ほぼ横ばいでしたが、平成27年以降減少傾向になっています。

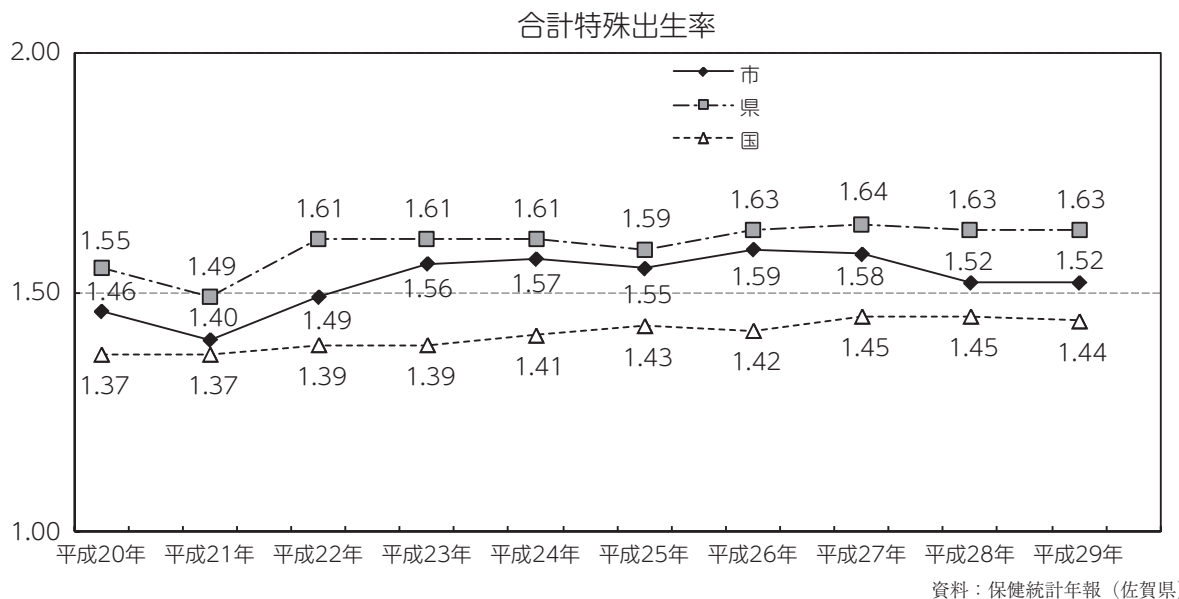
	17年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
実数(人)	2,150	2,176	2,049	2,090	2,164	2,136	2,086	2,108	2,054	1,976	1,916	
出生率	市	8.9	9.1	8.6	8.9	9.2	9.1	8.9	9.0	8.7	8.5	8.2
	県	8.7	9.2	8.9	9.0	9.0	8.9	8.7	8.6	8.5	8.3	8.2
	国	8.4	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	8.0	8.0	7.8	7.6



■合計特殊出生率*

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
市	1.46	1.40	1.49	1.56	1.57	1.55	1.59	1.58	1.52	1.52
県	1.55	1.49	1.61	1.61	1.61	1.59	1.63	1.64	1.63	1.63
国	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.45	1.44

*佐賀市の合計特殊出生率は佐賀市健康づくり課算出
資料：保健統計年報（佐賀県）



■出生時体重の年次比較

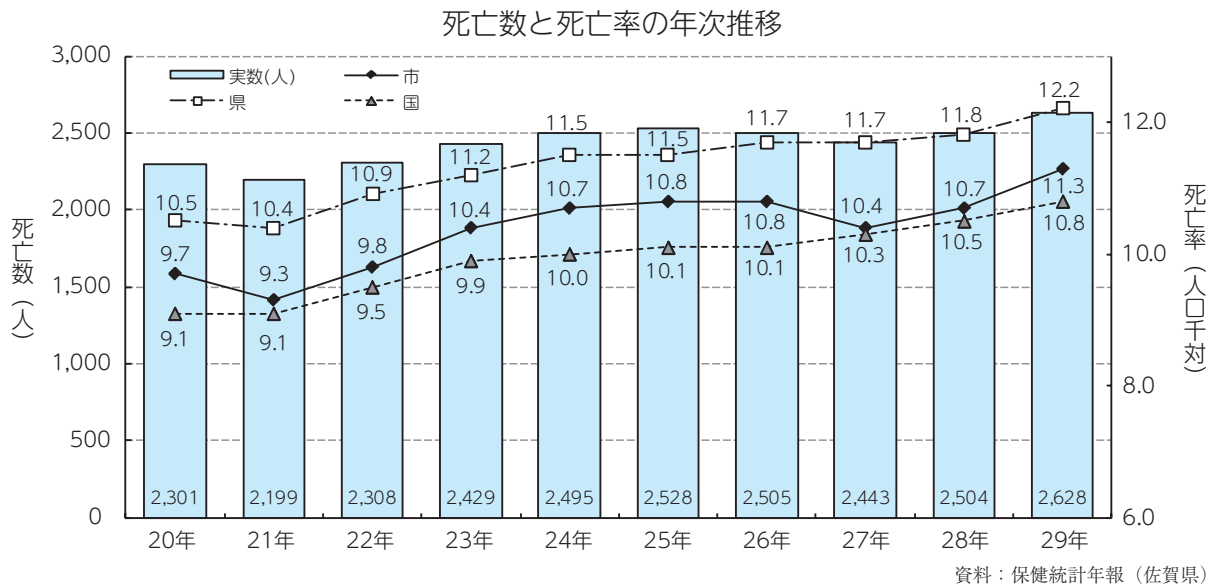
年次	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
出生総数(人)	2,176	2,049	2,090	2,164	2,136	2,086	2,108	2,054	1,976	1,916	
出生時体重	1000g未満	6 (0.3%)	11 (0.5%)	12 (0.6%)	6 (0.3%)	11 (0.5%)	5 (0.2%)	5 (0.2%)	5 (0.2%)	4 (0.2%)	7 (0.4%)
	1000g～ 1500g未満	5 (0.2%)	9 (0.4%)	6 (0.3%)	8 (0.4%)	11 (0.5%)	12 (0.6%)	9 (0.4%)	10 (0.5%)	5 (0.3%)	9 (0.5%)
	1500g～ 2000g未満	33 (1.5%)	30 (1.5%)	26 (1.2%)	24 (1.1%)	20 (0.9%)	32 (1.5%)	23 (1.1%)	27 (1.3%)	18 (0.9%)	29 (1.5%)
	2000g～ 2500g未満	156 (7.2%)	130 (6.3%)	156 (7.5%)	157 (7.3%)	149 (7.0%)	165 (7.9%)	151 (7.2%)	143 (7.0%)	151 (7.6%)	141 (7.4%)
	2500g～ 3000g未満	829 (38.1%)	788 (38.5%)	788 (37.7%)	808 (37.3%)	785 (36.8%)	759 (36.4%)	812 (38.5%)	712 (34.7%)	722 (36.5%)	724 (37.8%)
	3000g～ 3500g未満	903 (41.5%)	868 (42.4%)	860 (41.1%)	877 (40.5%)	899 (42.1%)	853 (40.9%)	870 (41.3%)	877 (42.7%)	844 (42.7%)	790 (41.2%)
	3500g～ 4000g未満	226 (10.4%)	193 (9.4%)	226 (10.8%)	267 (12.3%)	238 (11.1%)	237 (11.4%)	220 (10.4%)	264 (12.9%)	215 (10.9%)	197 (10.3%)
	4000g以上	18 (0.8%)	20 (1.0%)	16 (0.8%)	9 (0.4%)	23 (1.1%)	22 (1.1%)	17 (0.8%)	15 (0.7%)	17 (0.9%)	19 (1.0%)
	不詳	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	1 —	1 —	— —	— —
平均体重 (kg)	男 3.06	3.05	3.04	3.07	3.07	3.05	3.08	3.09	3.08	3.05	
	女 2.97	2.96	2.98	2.98	2.97	2.98	2.96	2.99	2.98	2.98	

資料：保健統計年報（佐賀県）

■死亡数と死亡率の年次推移

死亡数は、年々増加傾向にあります。また死亡率をみると、平成21年に一度減少した後、県を下回る水準ではありますが、徐々に増加しています。

		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
実数(人)		2,301	2,199	2,308	2,429	2,495	2,528	2,505	2,443	2,504	2,628
死亡率	市	9.7	9.3	9.8	10.4	10.7	10.8	10.8	10.4	10.7	11.3
	県	10.5	10.4	10.9	11.2	11.5	11.5	11.7	11.7	11.8	12.2
	国	9.1	9.1	9.5	9.9	10.0	10.1	10.1	10.3	10.5	10.8



■周産期死亡[※]

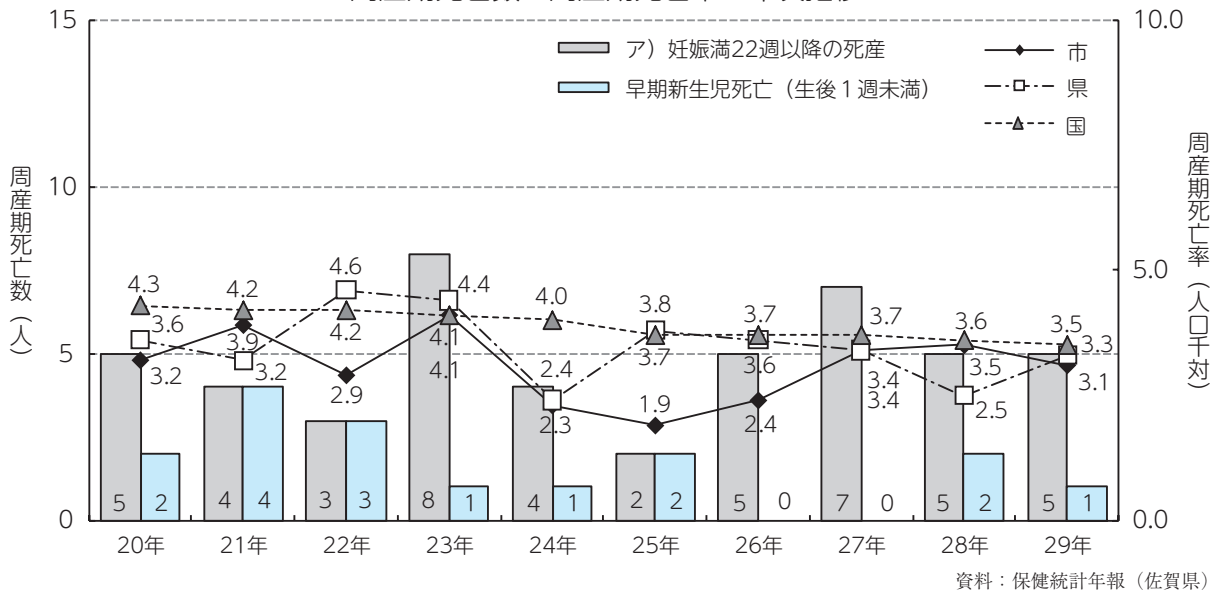
※周産期死亡とは妊娠満22週以降の死産と生後1週未満の早期新生児死亡をあわせた死亡である。

		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
ア) 妊娠満22週以降の死産		5	4	3	8	4	2	5	7	5	5
早期新生児死亡 (生後1週未満)		2	4	3	1	1	2	0	0	2	1
計		7	8	6	9	5	4	5	7	7	6
イ) 周産期 死亡率	市	3.2	3.9	2.9	4.1	2.3	1.9	2.4	3.4	3.5	3.1
	県	3.6	3.2	4.6	4.4	2.4	3.8	3.6	3.4	2.5	3.3
	国	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5

ア) 平成6年までは妊娠満28週以降の死産であった。

イ) 平成6年までは、出生千対率であったが、平成7年からは出生数+妊娠満22週以降の死産数の千対率になった。

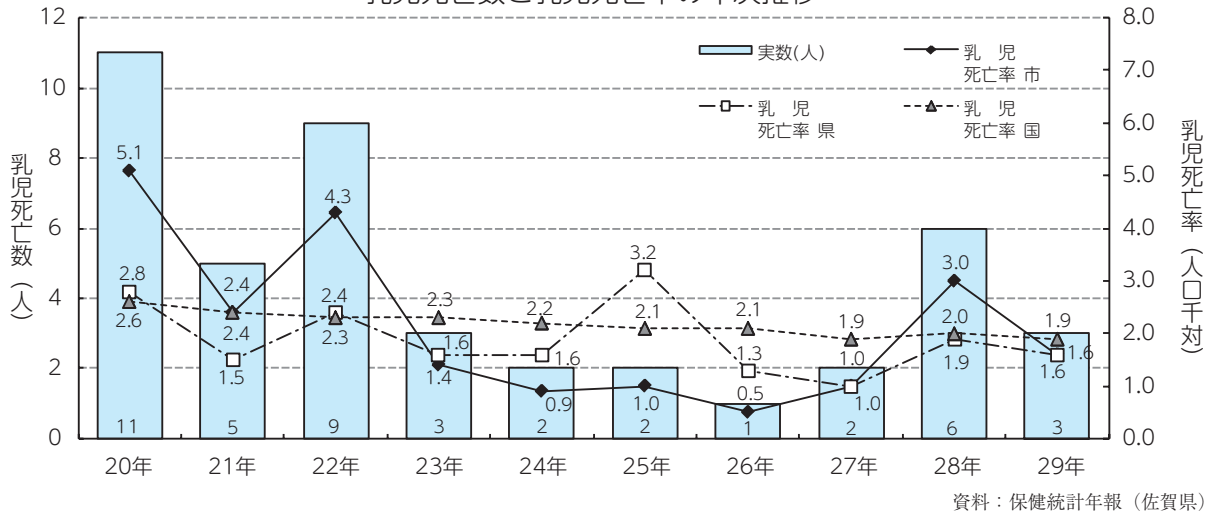
周産期死亡数と周産期死亡率の年次推移



乳児死亡

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
実数 (人)	11	5	9	3	2	2	1	2	6	3	
乳児死亡率	市	5.1	2.4	4.3	1.4	0.9	1.0	0.5	1.0	3.0	1.6
	県	2.8	1.5	2.4	1.6	1.6	3.2	1.3	1.0	1.9	1.6
	国	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0	1.9

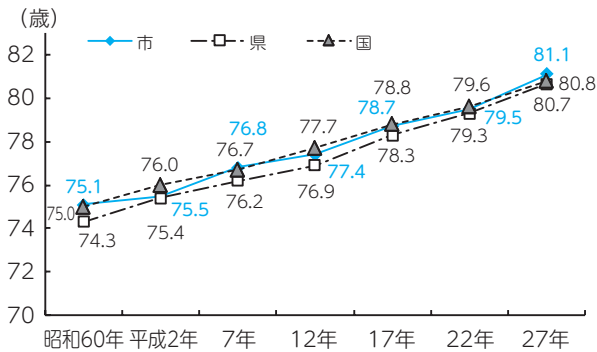
乳児死亡数と乳児死亡率の年次推移



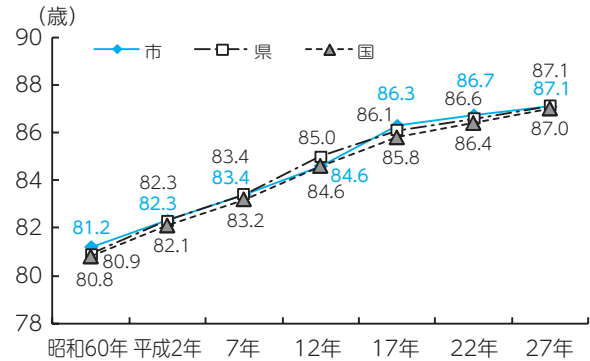
平均寿命の推移

平均寿命は、男女ともほぼ右肩上がりとなっています。

【男性】



【女性】



資料：厚生労働省公表資料

平均寿命と健康寿命

○ 佐賀市

		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	寿命の伸び (対前年比)
平均寿命 (歳)	男性	79.46	79.95	79.38	80.18	80.67	81.12	80.97	81.31	0.34
	女性	86.74	85.92	86.82	86.24	86.56	87.39	86.66	86.65	▲0.01
健康寿命 (歳) ※日常生活動作が自立している期間の平均	男性	78.25	78.78	78.29	79.10	79.59	79.92	79.83	80.18	0.35
	女性	83.85	83.23	84.02	83.67	83.95	84.64	84.00	84.17	0.17
平均寿命と健康寿命の差 (年)	男性	1.21	1.17	1.09	1.08	1.08	1.20	1.14	1.13	
	女性	2.89	2.69	2.80	2.57	2.61	2.75	2.66	2.48	

資料：「健康寿命の算定方法の指針（平成24年9月）」により佐賀市で算定

○ 佐賀県

		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	寿命の伸び (対前年比)
平均寿命 (歳)	男性	79.26	79.51	79.24	80.03	80.14	80.77	80.75	80.86	0.11
	女性	86.56	86.25	86.67	86.53	86.99	86.98	86.99	87.05	0.06
健康寿命 (歳) ※日常生活動作が自立している期間の平均	男性	78.01	78.27	78.05	78.79	78.89	79.52	79.59	79.65	0.06
	女性	83.65	83.38	83.77	83.72	84.14	84.22	83.85	84.35	0.50
平均寿命と健康寿命の差 (年)	男性	1.25	1.24	1.19	1.24	1.25	1.25	1.16	1.21	
	女性	2.91	2.87	2.90	2.81	2.85	2.76	3.14	2.70	

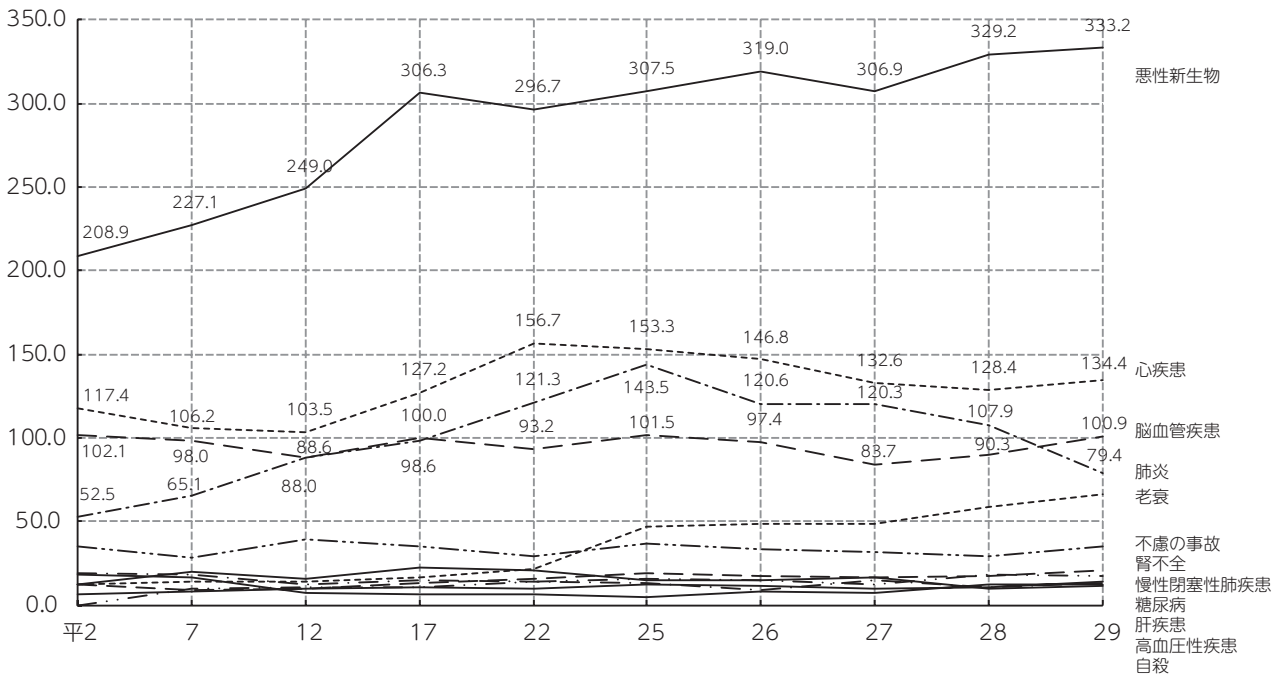
資料：「健康寿命の算定方法の指針（平成24年9月）」により佐賀県で算定

◇この算定方法による平均寿命と、5年に1度（国勢調査の年）公表される平均寿命の値とは、その算定プログラムの違いから誤差が生じる場合がある。

※「日常生活動作が自立している期間の平均」

健康な状態を日常生活動作が自立していることと規定し、介護保険の要介護度の要介護2～5を不健康（要介護）な状態とし、それ以外を健康（自立）な状態としている。

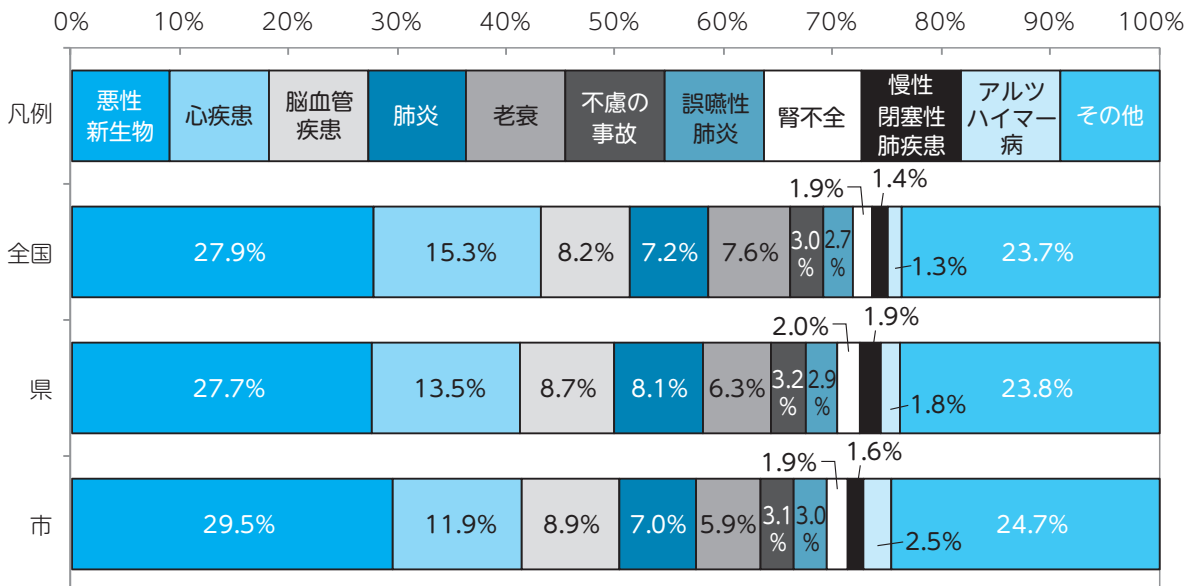
■佐賀市の主要死因別死亡率*の推移（人口10万対）



資料：保健統計年報（佐賀県）

■主な死因の全死亡における割合（平成29年）

主な死因の全死亡における割合については、国、県と同様に、生活習慣病である悪性新生物（がん）、心疾患及び脳血管疾患が全死亡の約5割を占めています。



資料：平成29年保健統計年報（佐賀県）

■悪性新生物 部位別SMR※（標準化死亡比）

	H14～H24		H19～H29	
	佐賀県	佐賀市	佐賀県	佐賀市
肝及び肝内胆管	157.0	174.8	151.3	164.4
乳房	101.3	113.9	103.5	115.6
白血病	137.9	114.4	135.5	115.4
子宮	99.2	108.7	109.3	113.3
胃	99.6	97.4	102.0	99.5
気管・気管支及び肺	97.6	97.2	96.6	99.3
膵	99.5	107.5	96.4	99.0
食道	81.6	85.3	85.3	92.0
直腸	89.4	87.2	87.6	82.7
その他	102.7	106.4	103.1	107.2

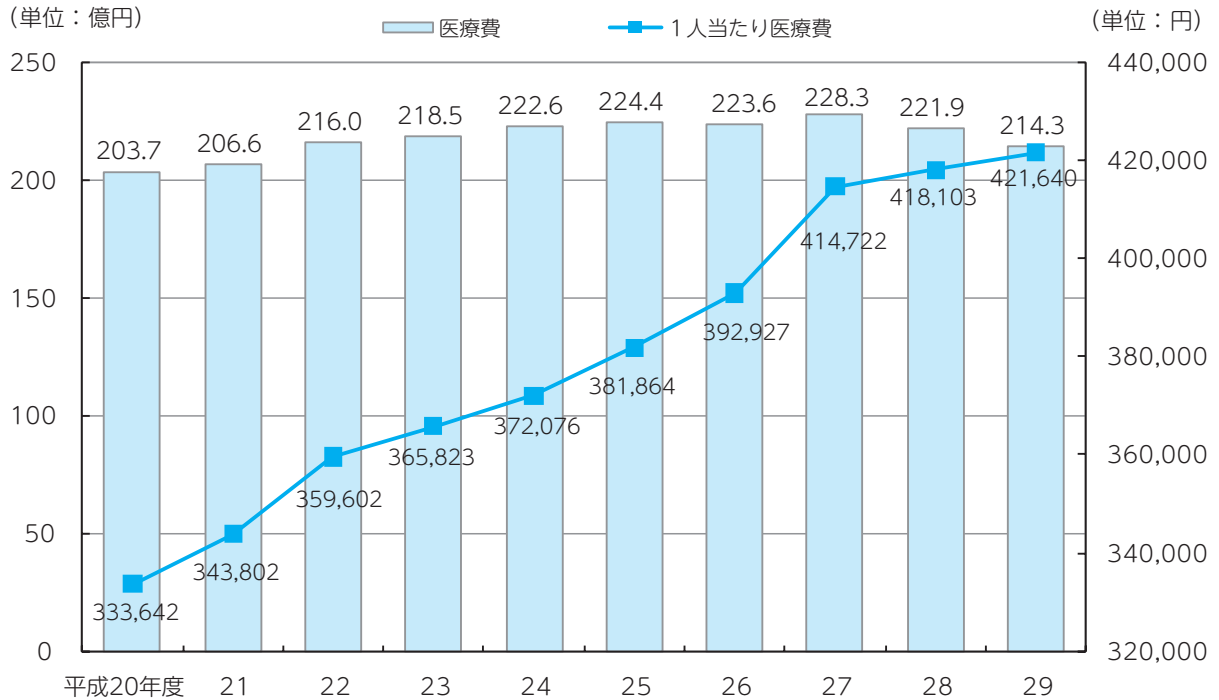
資料：平成24、29年保健統計年報（佐賀県）

3 医療費・人工透析の状況

■佐賀市国民健康保険の医療費の経年変化

佐賀市国保の医療費は、被保険者数が減少していることもあり、全体の医療費は減少しているものの、1人あたり医療費は年々増加しています。

佐賀市国保 医療費の推移（平成20年～平成29年）

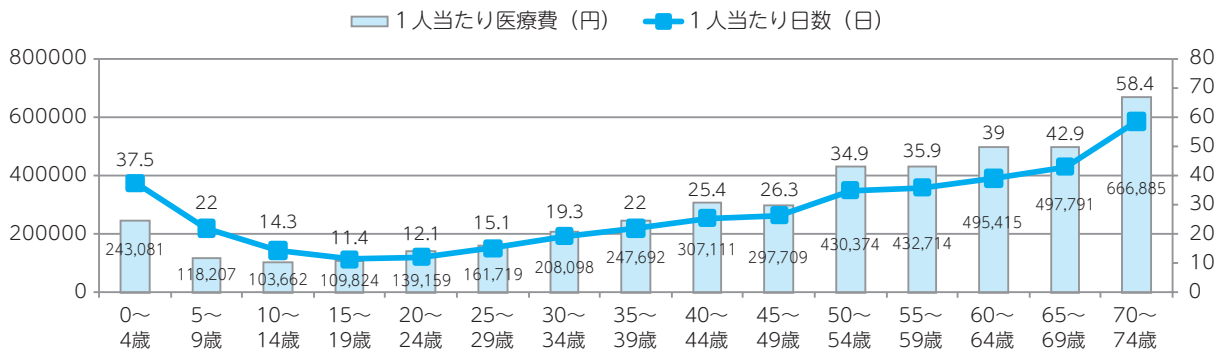


資料：佐賀市国保事業年報

■年齢階層別の1人あたり医療費の状況（佐賀市国民健康保険 平成29年度）

1人あたりの医療費を年齢別にみると、乳幼児期が高額となり、以降は徐々に減少し、20歳以降、年齢階層が上昇するごとに1人あたり医療費は増加しています。

佐賀市国保 年齢階層別医療費の状況（平成29年度）



資料：佐賀市国保事業年報

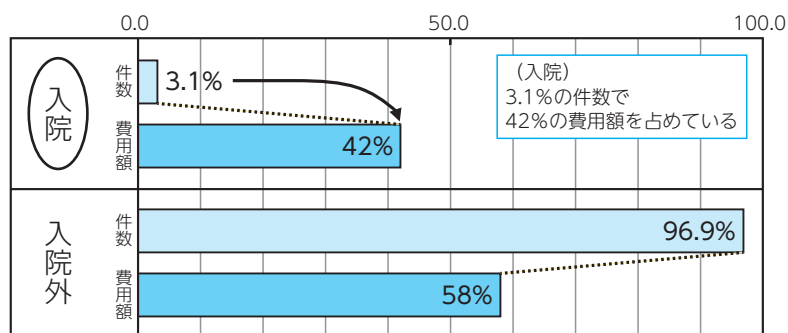
■入院・入院外の医療費の状況（佐賀市国民健康保険 平成29年度）

入院医療費は、件数が少ないにもかかわらず、多くの割合を占めています。

①年間

	医科レセプト件数 (件)	割合 (%)	費用額 (円)	割合 (%)
入院	15,273	3.1%	7,873,796,930	42.0%
入院外	474,048	96.9%	10,877,886,480	58.0%
計	489,321	100.0%	18,751,683,410	100.0%

②入院と入院外の件数・費用額の割合の比較



資料：国保データベース（KDB）より

■医療費が高額になる疾患の状況（佐賀市国民健康保険）

医療費が1月当たり200万円以上となった人は、平成29年度において262人であり、平成25年度に比べ、全体の人数・費用額ともに増加しています。またこの中で予防可能と考えられる脳血管疾患・虚血性心疾患も人数・費用額ともに増加しています。

▼医療費が200万円／月以上となった疾患の状況

	全 体		再 掲					
			脳血管疾患			虚血性心疾患		
	人数	費用額	人数	費用額	1人あたり費用	人数	費用額	1人あたり費用
H25年度	189	5億8949万円	14	4428万円	316.3万円	9	2939万円	326.6万円
H29年度	262	9億4386万円	16	5655万円	353.4万円	22	7110万円	323.2万円
比較	73	3億5437万円	2	1227万円	37.1万円	13	4171万円	△3.4万円

資料：国保データベース（KDB）より

■虚血性心疾患の状況（佐賀市国民健康保険 平成30年5月診療分）

虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）を持つ2,168人の、基礎疾患をみると、高血圧は81.0%、糖尿病は45.3%、脂質異常症は71.1%でした。

年代	被保険者数	生活習慣病 人数	虚血性心疾患		基礎疾患					
					高血圧		糖尿病		脂質異常症	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40～49	5,254	1,309	54	4.1%	42	77.8%	23	42.6%	35	64.8%
50～59	5,902	2,171	164	7.6%	119	72.6%	58	35.4%	113	68.9%
60～69	16,264	8,803	967	11.0%	782	80.9%	441	45.6%	716	74.0%
70～74	9,863	6,822	983	14.4%	813	82.7%	460	46.8%	677	68.9%
合計	37,283	19,105	2,168	11.3%	1,756	81.0%	982	45.3%	1,541	71.1%

■脳血管疾患の状況（佐賀市国民健康保険 平成30年5月診療分）

脳血管疾患（脳梗塞、脳出血等）を持つ2,088人の、基礎疾患をみると、高血圧は75.9%、糖尿病は42.2%、脂質異常症は61.3%でした。

年代	被保険者数	生活習慣病 人数	脳血管疾患		基礎疾患					
					高血圧		糖尿病		脂質異常症	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40～49	5,254	1,309	53	4.0%	31	58.5%	17	32.1%	24	45.3%
50～59	5,902	2,171	153	7.0%	108	70.6%	60	39.2%	74	48.4%
60～69	16,264	8,803	946	10.7%	714	75.5%	404	42.7%	584	61.7%
70～74	9,863	6,822	936	13.7%	732	78.2%	401	42.8%	597	63.8%
合計	37,283	19,105	2,088	10.9%	1,585	75.9%	882	42.2%	1,279	61.3%

資料：国保データベース（KDB）より

■人工透析※の状況

日本透析医学会統計調査委員会の報告「わが国の慢性透析療法の現状」によると、佐賀県の慢性透析患者数は、平成28年2,446人で、人口100万人に対する人数としては全国で高い方から11番目でした。また平成27年と平成28年の伸び率は全国で3番目に高くなっています。

順位	平成22年			順位	平成24年			順位	平成28年		
	都道府県	患者数	人口100万対		都道府県	患者数	人口100万対		都道府県	患者数	人口100万対
1	熊本	5,908	3,251	1	熊本	6,169	3,394	1	徳島	2,828	3,771
2	徳島	2,503	3,187	2	徳島	2,656	3,381	2	熊本	6,469	3,647
3	宮崎	3,611	3,181	3	宮崎	3,678	3,240	3	大分	3,906	3,367
4	大分	3,760	3,142	4	大分	3,854	3,221	4	宮崎	3,668	3,347
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
18	佐賀	2,104	2,476	16	佐賀	2,221	2,614	11	佐賀	2,446	2,954
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
23	★全国	297,126	2,320	24	★全国	309,946	2,420	24	★全国	329,609	2,597

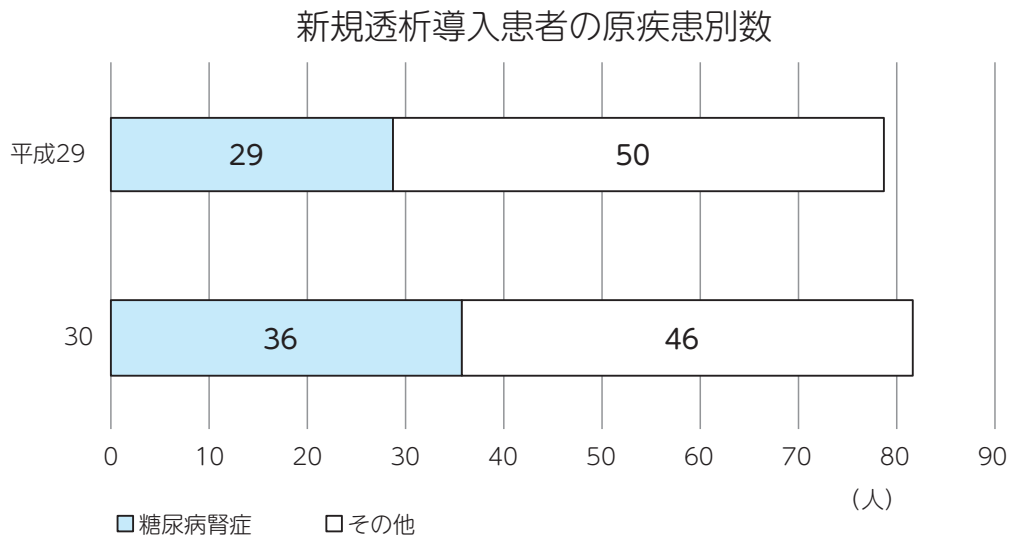
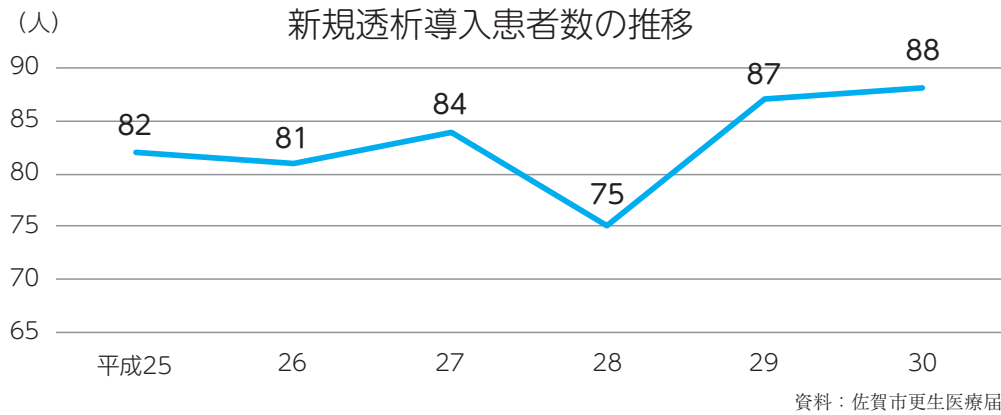
*伸び率

順位	昭和60年－平成28年			順位	平成27年－平成28年		
	都道府県	患者増加数	伸び率		都道府県	患者増加数	伸び率
1	埼玉	15,583	777.5	1	秋田	139	106.9
2	千葉	12,707	702.2	2	岐阜	170	103.5
3	群馬	5,053	678.8	3	佐賀	72	103.0
4	茨城	6,752	667.4	4	埼玉	501	102.9
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
8	佐賀	2,023	578.3	23	★全国	4,623	101.4
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
19	★全国	263,299	497.1				

資料：「わが国の慢性透析療法の現状」（一社）日本透析医学会 統計調査委員会

■新規透析導入患者の推移（佐賀市）

新規透析導入患者は年により変動はあるものの微増の状況です。原疾患別分類（平成29年～佐賀県が集計）によると、糖尿病腎症が約4割を占めており、全国比率43%前後と同様になっています。

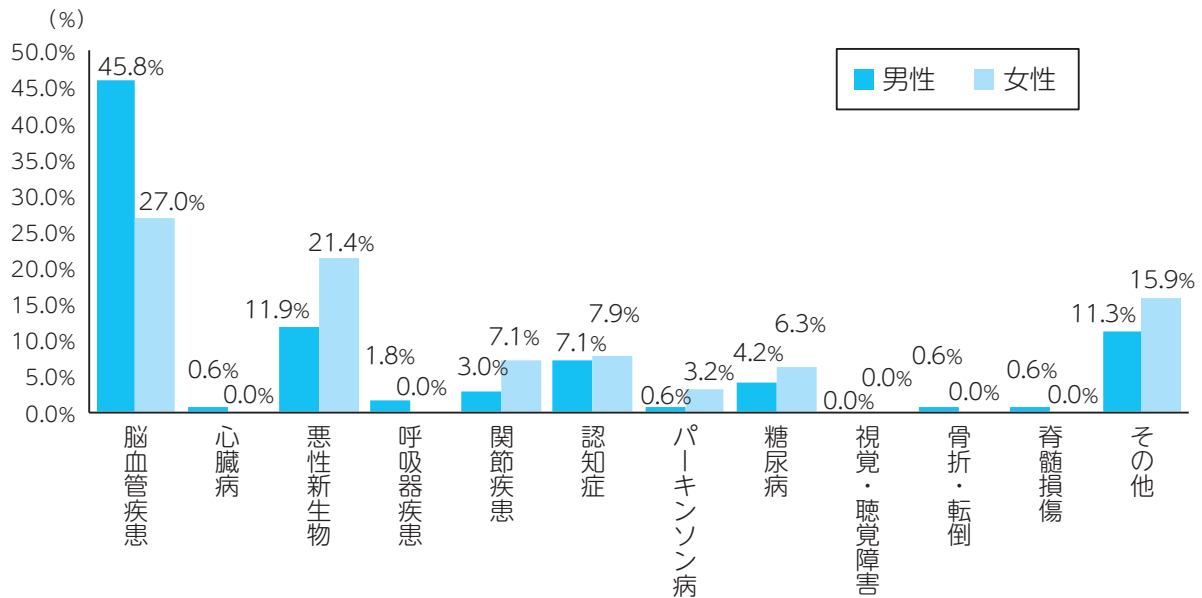


4 要介護認定者の状況

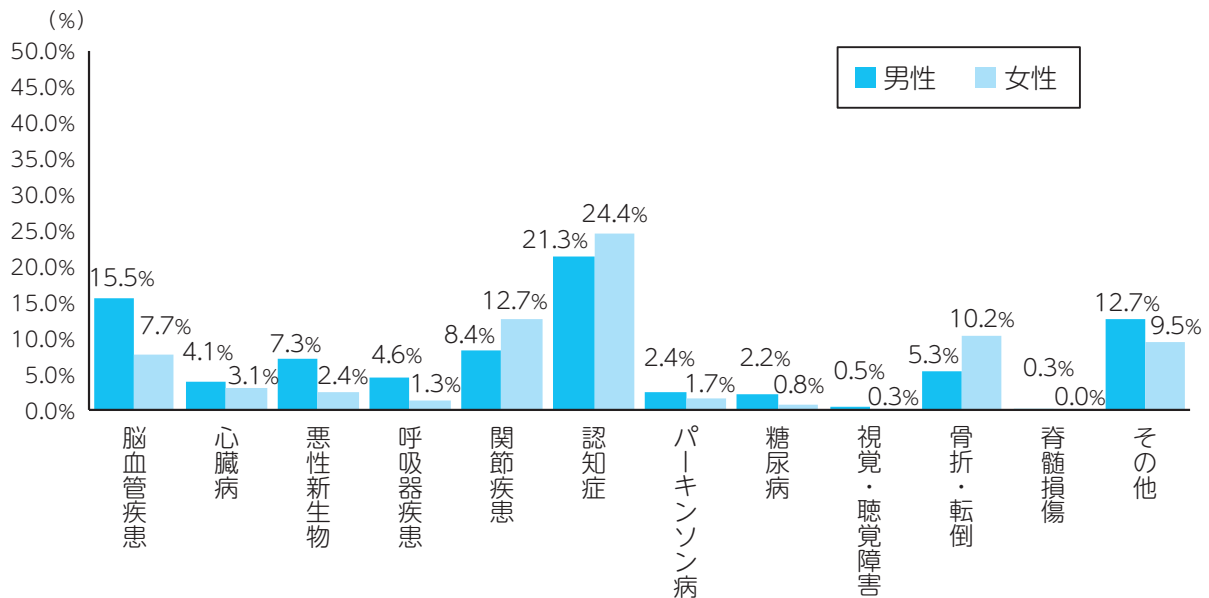
■要介護認定者の原因疾患（佐賀市）

要介護認定者の原因疾患をみると、40～64歳では男女ともに「脳血管疾患」の割合が最も高く、特に男性では4割を占めています。65歳以上では、男女ともに「認知症」の割合が最も高く、女性では4分の1程度を占めています。

【40～64歳】



【65歳以上】



資料：佐賀市 平成30年；佐賀中部広域連合調べ

■国民健康保険加入者における介護保険2号被保険者（40～64歳）の脳血管疾患による介護認定者の基礎疾患（佐賀市：平成30年6月調査）

65歳未満で脳血管疾患を発症した介護認定者の基礎疾患は、男女ともに高血圧が約9割を占めていました。年代別では、60～64歳が約6割を占めています。

男性

順位	高血圧	糖尿病	高脂血症	高尿酸	人数(B) (人)	割合 (B/A)
1	●				12	20%
2	●	●			10	17%
3	●	●	●		9	15%
4	●	●	●	●	8	13%
5	●		●		7	12%
6	●		●	●	4	7%
6	●	●		●	4	7%
8			●		2	3%
8		●	●		2	3%
10	●			●	1	2%
10		●			1	2%
人数(C)	55	34	32	17	(A)	
割合(C/A)	91.7%	56.7%	53.3%	28.3%	60	

女性

順位	高血圧	糖尿病	高脂血症	高尿酸	人数(B) (人)	割合 (B/A)
1	●	●	●		12	41%
2	●				6	21%
3	●	●	●		5	17%
4	●	●	●	●	3	10%
4	●	●			3	10%
人数(C)	26	18	17	4	(A)	
割合(C/A)	89.7%	62.1%	58.6%	13.8%	29	

	40～49歳	50～59歳	60～64歳	合計
男性(人)	1	24	35	60
女性(人)	0	12	17	29
合計(人)	1	36	52	89
割合	1.1	40.5	58.4	100

資料：国保データベース（KDB）より